

鏡川流域パートナーシップだより No.37 R5.2.21



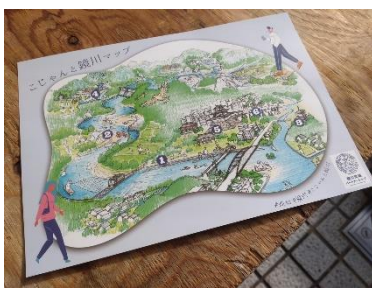
新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

青山ファーマーズマーケットで鏡川流域をPR！鏡川でのスポ GOMI・日曜市との中継も！

2月12日(日)に鏡川流域外関係人口講座「エディット KAGAMIGAWA」の受講生が、東京の青山にて開催の「青山ファーマーズマーケット」に出店し、鏡川流域の特産品の販売・PRを行いました！受講生の皆さんは、講座の一環で1月に実施した現地フィールドワークで鏡川流域の生産者さんのもとを訪れ、特産品についての理解を深めました。その後、受講生同士でFacebookグループやZoomなどを活用し、出店に向けてアイデアを出し合い、準備を進めてきました。当日は首都圏在住のお客さんが多数、ブースを訪れてくださり、受講生との交流をとおり、鏡川流域について知っていただく機会となりました！



ブース名は「こじゃんと鏡川」！受講生同士で役割分担し、店舗をレイアウトしたり、お客さんに商品の説明をしたりと、協力し合ってブースを盛り上げました！



受講生が独自に鏡川流域の情報を集めて作成した「こじゃんと鏡川マップ」には、鏡川流域の魅力的なスポットが丁寧にまとめられています。このマップも、商品とともにお客さんに配布！高知市を訪れたことがない人にとっても、鏡川流域に興味を持っていただけるきっかけになりました。



「ぼっちり」の体験チケットも事前に作成。ブースで実施したクイズの正解者にぼっちりを付与するなど、その場で気軽に楽しめる体験チケットでした♪



売れ筋商品や当日の出店の雰囲気などをもっと共有するために、受講生から素敵な体験チケットが発行されています！高知市や鏡川流域に対する首都圏の方々の反応や想いを感じ取ることができますよ^^



12日は、高知市内では流域内講座の受講生が集まり、日曜市を訪問中！また、鏡川橋付近では「未来をかえ隊」の生徒さん主催のスポ GOMI を開催中。この機会に、日曜市、鏡川、青山ファーマーズマーケットの3地点でオンライン中継を実施しました！流域内・外の受講生同士がオンラインで交流する場面も生まれ、それぞれの場所で自分らしく鏡川に関わる人たちがつながった素敵な瞬間でした！

「ぼっちり」の体験チケットで参加を呼びかけ、受講生が集合！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android